

令和5年度

肢体不自由教育部門

高等部

第3学年

③学習グループ

年間指導計画

令和5年度東京都立墨東特別支援学校年間指導計画

部門	肢体（本校）	学部	高等部	学年	第 3 年	
教科等名	国語・数学（知）			学習グループ	③	
ねらい	(1) 言葉や数の基本的な力を身に付ける。 (2) 体験的な活動を通して様々な思いをもったり表現したりできる。 (3) 提示された教材に意識を向けたりしながら、そのときの感情を表現する。					
担当教員	内田麻衣 志賀拓也 上原千穂			年間授業時数	35 時間	
使用教科書	なし					
主な指導の工夫	(1) 授業の流れを一定にし、見通しをもてるようにする。 (2) 教材に注視しやすいように、提示の仕方を工夫する。 (3) 個別の課題を設定し、実態に合わせて身近な数字や物の名称に触れる。					
月	単元（題材）名	指導時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
4 5	オリエンテーション 身近な数字・名称	6	◆ 身近な数字に関心をもつ。  ◇ 数について、絵本や具体物を用いて体験を通じて知る。	○		
6 7	夏を感じよう 身近な数字・名称 個別課題学習	6	◆ 見たり聞いたり触ったりしながら季節（夏）を感じる。  ◇ 提示された絵カードを選択する。		○	
9 10	秋を感じよう 身近な数字・名称 個別課題学習	8	◆ 物語りの世界観を感じ、感じた気持ちを自分なりに表現する。 ◆ 個別の課題に集中して取り組む。 ◇ 「秋」に関する本の読み聞かせ。 ◇ 延滞学習、形の弁別、ICT機器でのコミュニケーション等		○	○
11 12	冬を感じよう 身近な数字・名称 気持ちを伝えよう 個別課題学習	6	◆ 物語りの世界観を感じ、感じた気持ちを自分なりに表現する。 ◇ 「冬」に関する本の読み聞かせ。 ◇ 延滞学習、形の弁別、ICT機器でのコミュニケーション等		○	○
1	書初め 身近な数字・名称	3	◆ 筆の感触や墨の匂いを感じ、毛筆での書字に興味をもって活動する。 ◇ 書きたい文字を選び、書字を行う。	○		
2 3	春をかんじよう 「ありがとう」を伝えよう。	6	◆ 見たり聞いたり触ったりしながら季節（春）を感じる。  ◇ 物語の読み聞かせ。 ◇ 1年間の感謝の気持ちをメッセージカードにして作成する。		○	○

※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度

令和5年度東京都立墨東特別支援学校年間指導計画

部門	肢体（本校）	学部	高等部	学年	第 3 年	
教科等名	音楽（知）			学習グループ	③	
ねらい	(1) 音楽を楽しみ、発声や表情等で自由に表現する。 (2) 様々な楽器や奏法に触れ、音を鳴らすことを十分に味わう。 (3) 様々な音や音楽を聴いて、音楽活動に親しむ。					
担当教員	高橋尚子 内田麻衣 志賀拓也			年間授業時数	35 時間	
使用教科書	なし					
主な指導の工夫	(1) それぞれが自分のタイミングで音を鳴らせるように伴奏する。 (2) イメージしやすいような視聴覚教材を用いる。 (3) 幅広いジャンルの音楽を扱う。					
月	単元（題材）名	指導時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
通年	「はじまりのうた」「リトミック」	—	◆ 授業の始まりと終わりを認識する。 ◇ 呼名に応じて返事をする。 ◆ 音楽の曲調を感じる。 ◇ 手拍子や身体全体で表現する。			○
4 5	「リトミック」	5	◆ 音楽のテンポやリズムの変化を楽しむ。 ◆ 歌遊びなどを通してコミュニケーションの力を培う。 ◇ 歌を聴いたり歌ったりする。 ◇ 音楽に合わせた動きを楽しむ。	○	○	
6 7	「世界の音楽」	6	◆ 世界の音楽について知る。 ◆ 特徴的なリズムや曲想を感じる。 ◇ 世界の音楽を鑑賞する。 ◇ 音楽に合わせて踊る。 ◇ 音楽に合わせて楽器を鳴らす。	○	○	○
9 10	「日本の伝統音楽」	7	◆ 日本の伝統音楽を知る。 ◆ 和楽器の音の響きを感じる。 ◇ 和太鼓やお箏に触れて鳴らす。 ◇ 和太鼓やお箏の演奏を鑑賞する。		○	○
11 12	「季節を感じよう」	6	◆ 情景をイメージする。 ◆ 波や風の音を表現する。 ◇ 冬の海などの映像を鑑賞する。 ◇ 歌を聴いたり歌ったりする。 ◇ オーシャンドラム等を鳴らす。	○	○	○
1 2	芸術鑑賞会に向けて	6	◆ 楽器や楽曲、音楽の背景となる文化などについて理解を深める。 ◇ 楽器の演奏を体験する。 ◇ 視聴覚教材を鑑賞する。	○		○
3	「卒業ソング」	5	◆ 卒業式への意識を向け、雰囲気を感じながら歌う。 ◇ 歌を聴いたり歌ったりする。 ◇ 歌に合わせて楽器を鳴らす。 ◇ 曲を感じ取り表現する。	○	○	○
※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度						

令和5年度東京都立墨東特別支援学校 年間指導計画

部門	肢体(本校)	学部	高等部	学年	第3年	
教科等名	美術(知)			学習グループ	③	
ねらい	(1) 様々な素材に触れ、素材の変化を感じながら自分らしい作品を作る。 (2) 表現方法に応じて道具を選び、使う。 (3) 様々な表現方法や素材に触れ、作ることを楽しんで活動する。					
担当教員	八田早苗 志賀拓也 内田麻衣 上原千穂			年間授業時数	70 時間	
使用教科書	なし					
主な指導の工夫	(1) 手の操作性に合わせた道具を用意する。 (2) 様々な色や感触に触れられるように課題を設定する。 (3) 鑑賞や振り返りの時間を十分に設け、活動を評価する。					
月	単元(題材)名	指導時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
4 5	モダンアート：にじみ 絵、吹き流し、ストリング(引き絵)	12	◆ 様々な技法で混色を行い、色の変化や形の変化を感じとる。 ◇ 色の3原色を水や風の動きで混色する。			
6 7	モダンアート：ストリング、スタンプ画 陶芸：皿、音の出るオブジェ制作	16	◆ 様々な技法で混色を学ぶ。 ◇ 紐を引く、スタンプを押す等、手を積極的に動かして制作する。 ◇ 触れて変化する素材の面白さを体験する。			○
9 10	陶芸：釉薬をかける 折り染め：和紙を染める 工芸：切って・重ねて・貼って	16	◆ 土の変化を感じ取る。 和紙に浸透する染料の様子や広げたときの美しさに注目する。 積極的に手を動かして制作を楽しむ ◇ 数種類の釉から、好みの色を選択し、素焼きの作品に釉をかける。 ◇ 介助を受け入れ、様々な素材や道具を使用して作品を仕上げる。	○		○
11 12	版画：回転版画 工芸：達磨づくり	10	◆ 素材に触れたり、様々な道具を使ったりして作品を制作する。 ◇ スチレンボードで制作した版を回転させて版画を行う。 ◇ 新聞紙と和紙で張子の達磨を制作する。	○		○
1 2 3	墨象：墨絵を描く 工芸：つるし雛 染色：卒業展示用作品	16	◆ 季節の行事を感じながら制作する。 ◇ 墨の香り、和紙や色紙の色彩、紙粘土の形に注目して制作する。 ◇ 仲間と協力し合い、完成を意識して自分の担当する部分を制作する。		○	○

令和5年度東京都立墨東特別支援学校年間指導計画

部門	肢体（本校）	学部	高等部	学年	第 3 年	
教科等名	保健体育（知）			学習グループ	③	
ねらい	(1) 様々な身体活動を通じて、自分の身体意識を高める。 (2) 身体を動かすことの心地よさを感じ、運動する楽しさを表現する。 (3) 簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく運動できる。					
担当教員	上原千穂 内田麻衣 志賀拓也			年間授業時数	35 時間	
使用教科書	なし					
主な指導の工夫	(1) 生徒の身体の緊張具合や可動範囲などの確認しながら動かす。 (2) 音楽のリズムやテンポに合わせて身体を動かす。 (2) 見本や繰り返しにより、活動内容が分かるようにする。					
月	単元（題材）名	指導時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
通年	体づくり運動	—	◆ 授業の見通しをもつ。 ◇ パワーポイントや動画、ICT機器による授業内容を確認する。 ◆ 身体を動かす心地よさを感じる。 ◇ 準備体操、リトミック活動。	○		
4	課題走	3	◆ 設定されたそれぞれの課題に主体的に取り組むことができる。 ◇ 課題を設定する。			○
5 6	得点ゲーム	6	◆ ゲームに友達と協力して取り組む。 ◇ ペアゲームをする。 ◇ 集団ゲームをする。	○		○
7	水泳	6	◆ 水の浮力でリラクゼーション図る。 ◆ 身体をの状態にあった活動 ◆ 身体の状態に合わせた水中運動 ◇ 水慣れ、背浮など ◇ 浮力を使って関節や筋肉を動かす。	○		○
9 10	球技 「ポッチャ」	6	◆ 腕や手などを動かして、自分なりの方法で主体的に運動することができ ◇ ボールを投げる、またはランプや補助具などを使用して転がす。 ◇ 的を意識したり、ゲームをしたりする。		○	○
11 12	ティーボール	7	◆ ボールや道具を操作する楽しさを知る。 ◇ 得意な打ち方を見つける。			○
1 2 3	ハンドサッカー	7	◆ それぞれの方法でゴールにシュートすることができる。 ◇ ポイントゲッター（シュート）ゲームをする。 ◇ 自分に合ったシュート方法でシュートする。		○	○

※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度

令和5年度東京都立墨東特別支援学校年間指導計画

部門	肢体（本校）	学部	高等部	学年	第 3 年	
教科等名	総合的な探求の時間			学習グループ	③	
ねらい	(1) 繰り返しの活動により、活動内容に対して簡単な見通しをもつ。 (2) 学校行事の事前学習・事後学習を、友達や先生と協力して行う。 (3) 様々な環境で、それぞれの力や良さを発揮する力を伸ばす。					
担当教員	内田麻衣 志賀拓也 上原千穂			年間授業時数	35 時間	
使用教科書	なし					
主な指導の工夫	(1) 一人一人の実態に応じて、補助具を工夫する。 (2) 活動への見通しがもてるよう、同じ学習内容を繰り返して行う。 (3) グループ教室以外での活動や、班行動での活動を行う。					
月	単元（題材）名	指導時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
4	オリエンテーション	6	◆ 1年間の授業の見通しをもつ。			
5	新入生と仲良くなろう 体育祭事前学習		◇ 他学年の仲間を訪問し意識する。 ◇ 体育祭の種目を知り、友達と発表し合う。			○
6	学期の行事の確認 体育祭を振り返ろう	4	◆ 学期の学習内容について知り、学校生活に見通しをもつ。 ◇ 体育祭で身に付けた得意技を披露する。	○		
7	学期のまとめ	2	◆ 各活動の写真や動画を見る。 ◇ 静かに写真やスライドの鑑賞ができる。	○		
9	学期の行事確認	3	◆ 学期の行事に見通しをもつ。 ◇ パワーポイントなどでの確認。		○	
10	墨東祭に向けて		◇ 各活動の写真や動画を見る。	○		
11						
12	実習事前事後学習	9	◆ 見通しをもって行事に参加する。 ◇ 発表内容についての話し合い・練習・振り返り	○		
1	季節の活動	4	◆ 新年の気持ちをもち、目標を立てる。 ◇ 墨の香りを感じながら、書初めを行う。			○
2	1年のまとめ	7	◆ 各活動の写真や動画を見る。 ◇ 静かに写真やスライドの鑑賞ができる。	○		
3						

※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度

令和5年度東京都立墨東特別支援学校年間指導計画

部門	肢体（本校）	学部	高等部	学年	第 3 年	
教科等名	特別活動			学習グループ	③	
ねらい	(1) 学年で行う行事等に見通しをもつ。 (2) 友達を知り、自分を伝えることで人間関係の充実を図る。 (3) 文化的な体験を通して、日常生活の楽しみ方を知る。					
担当教員				年間授業時数	35 時間	
使用教科書	なし					
主な指導の工夫	(1) 写真や資料等を使って分かりやすく提示する。 (2) 全員が意欲的に参加できるよう配慮する (3) 文化的な体験を通して、日常生活の楽しみ方を知る。					
月	単元（題材）名	指導時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
4	学年活動の予定を知る	2	◆ 学校生活に見通しをもつ。 ◇ 学年活動についての予定確認		○	
5	年間行事予定表を作る	3	◆ 期待感を高め、友達を応援できるようなる。 ◇ 行事予定表を作る。 ◇ 時間割や年間の行事を知る。	○		○
6	仲間と楽しく活動しよう	5	◆ 日常の生活の余暇活動の充実を図る。 ◇ 学年共通でできる様々なレクリエーションを行い、興味関心を広げる。			○
7 9	宿泊行事に向けて	5	◆ 生活や活動について見通しをもつ。 ◇ 調べ学習 ◇ 当日の行動予定を立てる。	○	○	
9 10 11	墨東祭に向けて	8	◆ 役割をもって、仲間と協力することができる。 ◇ 発表内容についての話し合い ◇ 役割分担		○ ○	
12 1	伝統と文化に触れよう	6	◆ 日本独自の伝統技術を体験することで、日本の伝統に興味をもつ。 ◇ 調べ学習 ◇ しおりの印刷、製本する。 ◇ 当日の行動予定を立てる。	○	○ ○	
2 3	高3に向けてと進路について	6	◆ 最高学年になることへの意識や卒業後の進路について見通しをもつ。 ◇ 高等部3学年・卒業・社会人生活への意識付けを行う。 ◇ 卒業生を送る会の企画。		○	○

※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度

令和5年度東京都立墨東特別支援学校年間指導計画

部門	肢体（本校）	学部	高等部	学年	第 3 年	
教科等名	自立活動			学習グループ	③	
ねらい	<p>（1）様々な姿勢、動きをとり、苦手な動きを補う力を身に付けたり、変形や拘縮を予防したりする。</p> <p>（2）慣れた大人を介して要求や意思表示を深め、より多くの人とのコミュニケーションの力につなげる。</p> <p>（3）目と手の協応動作や手指の巧緻性を高める。</p>					
担当教員	志賀拓也 内田麻衣 上原千穂			年間授業時数	560 時間	
使用教科書	なし					
主な指導の工夫	<p>（1）個々の生徒の実態把握を行い、自立活動の項目に沿って指導のねらいを設定する。</p> <p>（2）自立活動部教員との連携を図り、外部専門家のアドバイスを取り入れる。</p> <p>（3）その日の健康状態、気持ち、身体の状態に合わせて、適宜指導内容を設定する。</p>					
月	単元（題材）名	指導時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
通 年	個別の取り組み	560	◆ 身体機能の維持・向上			
			◇ 歩行練習			○
			◇ 姿勢保持			○
			◇ 可動範囲の拡大動作			○
			◆ コミュニケーション能力の向上			
			◇ 目を合わせる。		○	
			◇ 表情、発声などで伝える。		○	
			◇ 言葉かけに応じる。		○	
			◆ 手指の操作、目と手の協応動作の向上			
			◇ 見ながら手で握る。離す。	○		

※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度

令和5年度東京都立墨東特別支援学校年間指導計画

部門	肢体（本校）	学部	高等部	学年	第 3 年											
教科等名	日常生活の指導			グループ	③ 学習グループ											
ねらい	(1) 個々の課題に応じて身辺処理（歯磨き、準備、片付け、排せつなど）をできるようになる。 (2) 様々な姿勢、動きをとり、苦手な動きを補う力を身に付けたり、変形や拘縮を予防したりする。 (3) 慣れた大人を介して要求や意思表示を深め、より多くの人とのコミュニケーションの力につなげる。															
担当教員	志賀拓也 内田麻衣 上原千穂			年間授業時数	175 時間											
使用教科書	なし															
主な指導の工夫	(1) 個々の生徒の実態把握を行い、自立活動の項目に沿って指導のねらいを設定する。 (2) 自立活動部教員との連携を図り、外部専門家のアドバイスを取り入れる。 (3) その日の健康状態、気持ち、身体の状態に合わせて、適宜指導内容を設定する。															
月	単元（題材）名	指導 時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点			教科の位置づけ									
				知識	思考	態度	国	社	数	理	音	美	体	職業	外	
通 年	日常生活の学習	175	◆ 介助を受け入れ安全に食事・水分を摂る。 ◇ 摂食・水分摂取 ◆ 口腔ケアの介助を受け止める。 ◇ 歯磨き ◆ 介助への協力動作の力を培う。 ◇ 排せつ ◆ 食具等の準備、片付けの意識をもつ。 ◇ 巾着やビニールからの準備、片付けを行う。													

※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度

令和5年度東京都立墨東特別支援学校 年間指導計画

部門	肢体(本校)	学部	高等部	学年	第3年												
教科等名	生活単元学習			学習グループ	③												
ねらい	(1) 季節の行事や食べ物、素材に触れる活動を通して文化や生活への興味・関心を広げる。 (2) 挨拶や気持ち、要求等を、表情や発声、身体の動き等、自分なりの方法で表現する。 (3) 身近な友達や教職員との活動の楽しさを味わい、喜びを共感する。																
担当教員	志賀拓也 内田麻衣 上原千穂			年間授業時数	70 時間												
使用教科書	なし																
主な指導の工夫	(1) 各単元は授業の流れを統一し、生徒自身で見通しがもてるようにする。 (2) 生徒が操作しやすい自助具・ICT機器などを用いたり、教材に気付きやすいように提示する。 (3) 時間に余裕をもち、生徒の表現を待ってできたときは言葉掛けをする。																
月	単元(題材)名	指導時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点			教科の位置づけ										
				知識	思考	態度	国	社	数	理	音	美	体	職業	外		
4	季節を感じよう(春・夏)	36	◆ 春の風に触れ、季節を肌で感じる。														
5	①春を探そう		◇ 戸外活動を行い草花の観察をする。		○				◎		○						
6	②予定表を作ろう(前期)		◆ 季節の行事や学校行事について知ること、学校生活への見通しをもつ。														
7	③植物を育てよう		◇ 作業分担をして予定表づくりを行う。		○			◎		○							
9	④和紙制作		◇ 植物を育てる活動を通して、自然を愛する心情を養い、食に対する理解を深める。	◆													
	⑤調理をしよう		◇ 草花や野菜などの栽培を行う。	◆							◎						○
	⑥買い物をしよう	◆ 商品の選択や支払いをして物を買う体験を通し社会性を育み、経験を積む。	◇ 買い物をする。		○												
10	季節を感じよう(秋・冬)	34	◆ 季節の行事や学校行事について知ること、学校生活への見通しをもつ。														
11	①予定表を作ろう(後期)		◇ 作業分担をして予定表づくりを行う。		○			◎		○							
12	②ゲームを楽しもう		◆ 戸外活動や季節の行事にちなんだゲームを、友達と一緒に楽しむ。														
1	③冬を楽しもう		◇ 体験型ゲームやパラスポーツを行う。								○		◎				
2	④年末年始の過ごし方		◆ 外気に触れたり、冬の行事を体験したりして、季節感を感じる。														
3	⑤外国語に親しもう		◇ 足湯や暖の取り方を知る。	◆													◎
	⑦卒業に向けて		◇ 外国語の歌や言葉のリズムを感じて、他国の文化に親しむ。	◆													
		◇ ALTによる活動。	◆							○		○				◎	
		◇ 伝統的行事や遊びを通して、日本の文化を知る。	◆														
		◇ 伝統的行事や正月遊びを体験する。	◆							○		◎					
		◆ 3年間の高校生活を振り返る。	◇														
		◇ 3年間の活動を写真等の記録を使って振り返り、自らの成長を確認する。								○				◎	○		

※ 評価の観点：「知識」=知識・技能、「思考」=思考・判断・表現、「態度」=主体的に学習に取り組む態度